

子宮内膜症の癒着剥離におけるレクタルゾンデの効果的使用法

福井 淳史 先生 弘前大学医学部附属病院産科婦人科 診療准教授

● 略歴

平成 7 年 3 月 弘前大学医学部医学科卒業
 平成 11 年 3 月 弘前大学大学院医学研究科卒業
 平成 11 年 10 月 弘前大学医学部附属病院助手
 平成 17 年 10 月 米国ロザリンドフランクリン大学 Research fellow
 平成 18 年 10 月 大館市立総合病院産婦人科副部長
 平成 19 年 4 月 弘前大学医学部附属病院助教
 平成 23 年 5 月 弘前大学医学部附属病院講師
 平成 26 年 1 月 弘前大学医学部附属病院診療准教授
 医学博士・日本産科婦人科学会指導医・認定医、日本生殖医学会生殖医療専門医、
 日本産科婦人科内視鏡学会技術認定医、日本内視鏡外科学会技術認定医



【はじめに】

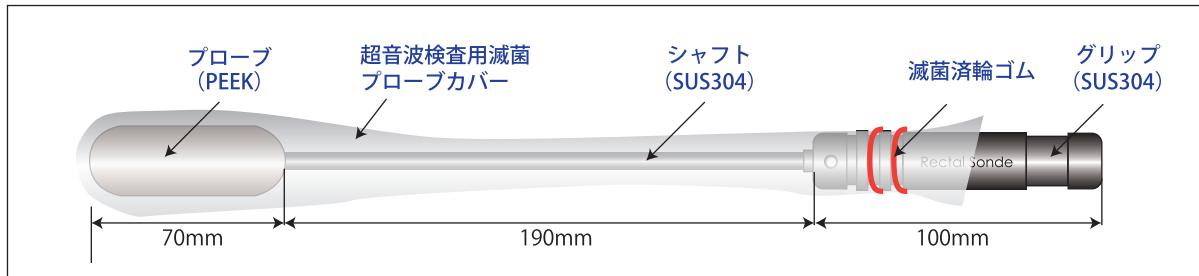
子宮内膜症は、性成熟期の女性に好発し、月経痛をはじめとする疼痛と不妊を主症状とする疾患である。腹膜病変、卵巣深部病変あるいは癒着病変といった多彩な病変を生じ、進行すると卵巣内膜症性嚢胞や腹腔内の高度癒着を形成し、治療に苦慮することが多い。子宮内膜症の治療は、年齢・症状の程度・病変の部位・挙児希望の有無などを総合的判断し決定する。

薬物療法などの保存療法も施行しうるが、(1) 症状改善が十分ではない場合、(2) 不妊症症例で妊娠を希望する場合、(3) 大きい内膜症性嚢胞を有する場合などは、主として腹腔鏡による手術療法が必要となる。手術時、症状改善のために癒着剥離が必須であるが、骨盤内高度癒着の症例では、剥離部位の同定に苦慮することも少なくない。この時非常に有用となるのがレクタルゾンデである。本品は当初、(株)シバタ医理科がエンドオニオンのアルミ軸と造瘻用プロテーゼを組み合わせた試作品の検討から始まり、臨床で使用出来るよう改良を加えたものである。

【レクタルゾンデ】

レクタルゾンデはポリエーテルエーテルケトン (PEEK) 樹脂のプローブとステンレス鋼 (SUS 304) のシャフトとグリップからなる。主として腹腔鏡手術に愛護的に直腸の操作・圧排を行う器具である (図 1)。レクタルゾンデを用いることにより、子宮内膜症などのダグラス窓閉鎖例の癒着剥離操作において、子宮と直腸との間にカウンタートラクションをかけることが可能となり、剥離部が明らかになり、剥離操作をより安全に行うことが可能となる。

尚、手術時など清潔化を保ちながら直腸内に挿入して使用する場合には、超音波検査用滅菌プローブカバーなどを用いるとよい。プローブカバーが外れ難いようにグリップにはくぼみが切ってあるのでその部位に滅菌済輪ゴムをかけて使うと使いやすい。



(図 1) レクタルゾンデ構造図

【実際の使用方法】

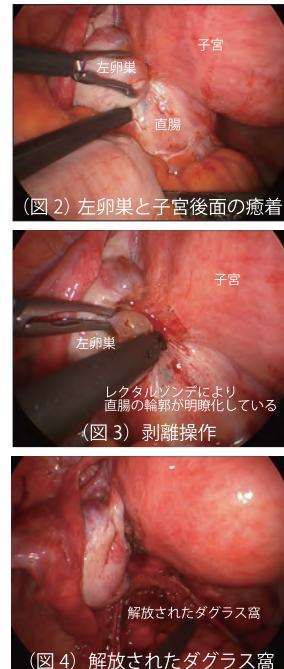
子宮・卵巣と直腸が一塊となりダグラス窩が閉鎖している子宮内膜症症例では、子宮後壁と直腸との癒着を剥離し、ダグラス窩を解放する必要がある。この時、子宮と直腸との境界が判然とせず、直腸の位置を確認することが困難であったり、子宮と直腸との剥離部位の決定に難渋したりする時がある。

1. 直腸の位置が判然としない場合

直腸指診を行って直腸からS状結腸の位置を確認することも可能である。しかし、直腸指診のみでは、指が癒着部位や内膜症病変に届かないために、病変部を十分に確認し得ない場合がある。

一方、レクタルゾンデはプローブが70mm、シャフトが190mmと十分な長さを有しているため、容易に直腸の部位を確認することができ、以後の剥離操作を安全に行うことができる。

図2-4は、腹腔鏡下子宮筋腫核出術を施行した症例であるが、左卵巣と子宮後面が癒着、直腸も挙上しており、ダグラス窩が閉鎖していた(図2)。レクタルゾンデを直腸内に挿入することにより直腸の輪郭が明らかとなり(図3)、安全に剥離操作を進めることができた(図4)。



2. 子宮後面と直腸との癒着を剥離する場合

子宮に挿入したマニピュレータを用いて子宮を可能な限り前屈させながら、直腸内に挿入したレクタルゾンデのプローブを剥離部位まですすめ、直腸を頭側および尾側に圧排することにより、剥離面を明瞭化することが可能となる。子宮マニピュレータとレクタルゾンデを協調させて動かし、適切にカウンタートラクションをかけることが肝要である。先に示したように直腸の位置も明らかとなるため、子宮との境を安全に剥離可能となる。

図5-7に示した症例は右卵巣内膜症性嚢胞、子宮内膜症合併の不妊症症例である。右卵巣と子宮後面、直腸が非常に強固に癒着しているダグラス窩完全閉鎖例である。当初子宮後面と直腸との境界が判然としなかった(図5)が、レクタルゾンデを挿入することにより剥離面が明らかとなり(図6)、癒着剥離・ダグラス窓開放を行うことが出来た(図7)。



【まとめ】

レクタルゾンデは、ダグラス窓閉鎖子宮内膜症症例に対する腹腔鏡下手術において、子宮後面と直腸との間の剥離を行うために非常に有用であると思われた。境界が明瞭化するため、臓器損傷も軽減し、非常に安全に剥離操作を行うことができる器具であると考えられる。

心のかよう医療器ハッコー

hakko 株式会社 八光

〒113-0033 東京都文京区本郷三丁目42-6 NKDビル5階 ☎(03)5804-8500

ホームページ <http://www.hakko-medical.co.jp/>

札幌 ☎(011)611-8520

仙台 ☎(022)257-8502

柏 ☎(04)7147-8500

本郷 ☎(03)5804-8500

〒389-0806 長野県千曲市大字磯部1490番地 (本社工場)

横浜 ☎(045)954-2111

長野 ☎(026)276-3083

金沢 ☎(076)253-8500

静岡 ☎(054)282-4185

松山 ☎(089)935-8517

名古屋 ☎(052)914-8500

大阪 ☎(06)6453-9102

岡山 ☎(086)243-3985

福岡 ☎(092)411-4100

熊本 ☎(096)379-5806

本郷商品管理センター

☎(03)5840-8502